的自覺を期

旨要示調相首

地方長官庭腋における林首相

國民の健實なる

政府は魏廷が出路と政局の分割を「政党協定」との議院官地方側より他「撃攻領に「職する」割示を行つたの「議院に移りな経路」と第十十級的は解散された「成内療大官、大村整保局長、接山寮」と叩ぶあり大いで発酵は用より選(用あり正午)

大抵告記官長、川越法制局長官、徳一巡査を期待する政府の態度につい

り指示事項部に出版事項につきは一

地方長官會議開

てゐる、耐して解訟の財政府應度は、従来とかく同様の種間を以て二百四、五十名に嚴選せんとし 選して二百六、七十名の公認に喰ひ止め政な領派の高立に陥る形勢があるので民政黨ではこれを厳 つ徹立に陥る形勢があるので民政党ではこれが

共同戦線の氣勢 新黨は豫斷を許さる



会東京控訴院機事を初め合権事止 午後二時期の、法規の連用師に建る水東京地方機事を初め合権事止 午後二時期の、法規の連用師に建る水東京地方機事を初め合権事止 午後二時期の、法規の連用師に建る水東京地訴院機事を初め合権事止 かけっぱ 自相主催の午春時に臨み 同法省大師選出において開始、吉 臨に指示を行め、正午自相官邸に「東京官語」表演談評批談選集「本銭長」の取締証に選用に職して超目が表生に関ロは五日午前十時から、法規の解釋証に選用に職して超目がませた。

檢察長官會同

るた。土龍が原政の傍へ寄つた。

へ似をやつて

而も再發せず!

『よい若衆とは、若衆は何處にゐ 『お部屋様、よい若梁ではござり 『狂犬、これからどうするかは

取れます

勢作

ハカス・シミデ

(22)

取れます!

ニキビが

【東京市語】民政法|呉の選擇は器選擇後に延期する

未升税事長より開館の依拠を述べ「最の次野、富田削離長の対解あり除名出路、暖頭型を代合唱の後、 | における町田總裁指荷頭に臨み綿

目治領を動員する

英帝國々防案

艱冠式を機に提出

野浜定してゐるから内地人が一名と云ふことに大いの内地人が一名と云ふことに大いの民選議院金允禄氏に水殿郡

を呪んでゐた。阿琰も弱之丞を呪 | きよろと見た。上浦の右側に祖が

軍事参議官會同

郷みも忘れてゐ

ダはてのもな的時

しい物がこう

国庁銀大會列路のため東上森明治氏(貯銀頭取)五日設問題折衝の為東上中四日歸田

か並みをつたい

圧れて往くがよ から、そちを飲 数を押しやるや らすがとい、そ

『それでも、お質俗なされてをる

かきないぞうに

美しい男にお

方で弱之巫は、

へ一方の手を卷 5片時も放しは

| 本の四月三十日紫越の歌山の選(字路などの名称繁彩につき自治師| 一、各自治師は任単帝間の時間は | 東語・外交・東層・通野・航海順に | を提出する方針といけれる| | 東語・外交・東層・通野・航海順に | を提出する方針といけれる

松岡洋右氏起用も傳へらる

の焦點

四つべしとし、政策は崩地振開 その危機打倒策として強気に

加してあくまで自由主義の翌

機館に五月十四日より帝國館職を一ス既后は次のイギリス帝國國防梁 府は新帝ジョージ六世の蔵が式を の釈迦によれば節はに臨しイギリーロンドン四日同盟 イギリス版 代表と紹練するが、ロンドン百組

天地玄黄

はね、その小小 **見代用にして弱**

呈進を本見

を手列数三に紙手 ふ乞み込申お入封

東京市神田 風妙住町十二番地

しがた。狂犬に

を派局散バニシングです。 全性代るやりに出來てる いつとはなしに、さつばり

定位一班三十銭瓶を クレームをお使ひに 一瓶目からは鹿形用 なる方は一跳四頭品

をお使び下さい。 寄題になるのです。 かうする方が、早く 間述つても副作用の 実化作用を信加する 心配はありませんが

なくては駄目です かう言う風に取れ ニキピや吹出物でも、一座「ソバカスもシミも、交は

最も有力無比な特徴であるい。馬が専政特許が採品の 既に出來てしまってゐる物 窓用する限り可能を向しと取れたら、その後はずつと といっまりの辞献からして

でなく、パパイン果代からまかせて無理失理に取るのまかせて無理失理に取るのはない。 一日と希臘になる一方で、取れるのですから、歴は日際化で自然に起となつて 美容力で、世帯の不用な物 取つたパパイン酵素の自然 は分解し、無用な影形的は

自動や肌が思ふやうにつき

【大切な脚注型】 始めてアモンババヤ

勝山機事の名を以て追起事場分を「も賈良院に造織の遊館に望着した」野法相の決談を続て五日午前八時」之により戦の『ひとのみも』数観

【選点電話】 雅教人の道に對し河

禁止命令

逐に潰滅の運命

ひミのみち。の教祖

が本支店内地ニ於テハ智具行大

拍5年同日FF 推

小野原山 他村ピー 加加プロア

社社式社 本本社本 安文文文 店店店店









TO CAROLINA 今年の「さくら音頭」!

でに魅け、飾りの

足が浮く!一寸問いたら ウラ・輸日傘版・計態進子

-町本城京

Ð

1 6

いいというこう

みき、『ひとのみも婦人』の定期

研究を進めてもたが確認にひとの

腹形通り二班に分れて連行大成功 目された部の金剛山スキー經走は

練習艦隊乘組員 仁川から京城へ

總督の招待宴

削九時半朝鮮神宮に正式を採

無智な連中を騙しては詐取

インチキ觀相師檢學

金育党(14)は三日午後六時ころ|

秘密結社の計畫

帰城のはずであるが第一班の土産

中城大阪科教芸館廿二名で六日朝

朝師山山上の無いの加場として注一口、後期氏で十八名で第二班は行

タカサトの東⇒大増發

や、お姉さんに手をひかれて、図 のお父さんやお母さん、お兄と

丸 音 男久藤伊

中道見花

今日から僕

漢江から投身

北西の風の明時時

1. 使用簡便迅速に作用し面を腕快 1. 使用程便近端は作用し頭を繋失 旅を製み。 2. 数余観数をも列途性の構造に貼 用し起時機高級所利用気管む。 3. 故故を持よ内外帯部に難し止直 に著切さ。 4. 数新の粘用浄土の使用に作む返 目球様の要指揮の数据はなっ。 ◇文献設費元より組品 注射波 軟膏 坐選 10c 6版 10g(0.60) 6四(0.60) 6四(0.60) 6四(0.60) 6四(0.60) 6四(0.60) 60g(0.60) 60g

療劑

雅・丹伊津摂

社會式構造酒西小

第一の風 強つたり

分間體操する

本府廳員に保健促進

り、徳を研究中のところ、歌作み、やりたい々と店職の開発で

先づ本府手七百の鰹錠に五日正午の一時間を有効に関ふことゝし、

養鷄及家畜飼料 飼料部 (類域を開始)

御會葬 御禮 俳 兒 紀紀 √II.

ツ窓

慶南の農振運動基礎工作

大興丸

土泉寺疑獄

船頭さんお山入り

趣は少し遅れると云つてゐる

一国時を運得する権況であつた

列車から墜死

浿江を追はれた百六十餘名

組合で救濟涙金支出る交渉

会部の汗と努力の結晶を喪上げその収益金の二割を淬動行

間部では製炭 慶南道の適地教育

るが無失他の各条役にも及住于影戦で最級運動の基準低式

「異式」勝思地が計画が立って発生。

「異式」勝思地が計画が立って発生。

「異式」勝思地が計画が立っては、よって独身で発生。

「として独自されてゐる

「異式」勝思地が計画が立って発生。

「として独自されてゐる

「として独自されてゐる

「として知自されてゐる

「として知自ながは、一と

「として知自されてゐる

「として知自されて知自されてゐる

「として知自されてゐる

「として知自されてゐる

「として知自されてゐる

「として知自されてゐる

「として知自されてゐる

「として知自されてゐ自己

「として知自されてゐる

「としてれてる」

「として知自されてる」

「としている」

「としている」

「としている」

「とし

徹底に乘り出す

新空、機関その体部構製などの財務関係側に至るすで、 関項が中心となって機械生徒気部三百四十名を網維する第、 の関連が中心となって機械生徒気部三百四十名を網維する第、 の関連を使うない。

説的の開設を寄究中であつたが今回晋州屋楽學校では今村

を利で解除するなど等歌歌の即途に軽大の別待をかけてる 野野歌初のこの戦みに力強い支援を興へ護無変位二千度を な生徒に自然的別域を婚報させることになった。 當局では な単位に自然的影響を開発させることになった。 當局では の生徒に配外では、
のというでは、
のというでは、

王犯佐奈田假出所の恩典

泣いて更生を誓ふ

財出東海岸唯一の概名所

爵山地方は

萬圓事件

い試みに期待

予部を開

西に天府の 沼州梁古思ひかけ橋 窓山鐵道

音頭取る子は 城連みなと

資金花吹く 城律みなと

より湿川路師が山張樹龍を行つで家人からの居出でにより参加

れた事が ム服用

實験を

・ 午後一時興威所祭、三時興盛所の # ・ 新行の哲

掛け帰途四大田帰から栗山

【卷山】 府內草梁前"職工臭俊玉

李例祭で午町十一時神殿御鶴河、後五時前夜祭、四日は午町九時港

【签出】胡原山神山例祭は二日午

釜山の春祭

一 型数に急剰大騒ぎを演じたか曽倉 のでは、こと物明、家族地に のでは、ことが明明、家族地に のでは、ことが明明、家族地に のでは、ことが明明、家族地に のでは、ことが明明、家族地に のでは、ことが明明、家族地に

ではスキー場 笑いの峠 ではスキー場 笑いの峠 をいると、 実が白む

夢の行果 城港みなとトコヨイトコ さくらちらはら、岸邊の水にみさき帯離。 ほがすみ

(一) いるッナトは自復らやないが がは、対すり類々 相の故に がは彼のやうな 明れ要 がは彼のやうな 明れ要 がは彼のやうな 明れ要 がはなった。

佳良の乳兒を得、且つ其肥立を良

大阪店船に出机

好ならしめるのみならず、此の期

であつてヂツベルト、ザイツ、マ内外機多の文獻に徼して頗る明瞭

の疾病・

を未然に豫防することは、 んで偶發する母子體の諸種

ルチノ

ワスキー、

片瀬博士等々枚

能を

ムの姙婦保護、胎兒發育の

経揮せしむる 左蹬でありま

4き實驗報告こそは、カル

阿波共同汽船帐出机

カルシ

を無事に經過せしめ、發育ユーム攝取は啻に姙娠及び

授乳期

のであ

ます。

此の科

学的眞理の光彩をはなつた

嶋谷汽船株式會社戶市神戸開始石町

は既に過去の事實であつて

が安産せしむる確證を得ら

概けられた結果カルシユー

妣婦保健の爲に眞摯な研究 大醫學部教授片瀨淡博士は

気から

安

產

空の白斑の 落葉松 であられば思うても 成女林斉ち で、東地の費

全國的の應募實に三六四篇

唄入

優秀作五篇を選ぶ

東京 では、 大精を置って を では、 大精を置って

一等(資金五十個)

と染めぬく 日の制作 彼の現に

松永 可舟 ド (拾圓)

夢の卵島も 便気機 けいまいも 選挙学に りれしい思いも 選挙の里か明日は松興里 温泉の里か

歌ふスキーヤも ハイジヤン歌ぶスキーヤも ハイジヤン

徳田三十四

嗣は鮮內一七四、內地一八二、北海 によって独在を開始した、階級歌

外地』福州国二、台湾一

地域事支局で懸び背集した城市

東京 | 1 | 東京 | 1 |

ホンニ、ヤレ、ソレ陽が配るうらし黄金の 陽が窺る いませい 観視の山に 財船入艦 綾祠の山に なた波止場を 南手に抱いて 証 城事みなと

トコヨイトコ 八丁櫓の格風 明けりや労風 八丁櫓の格風 からちんげ たいちんげん 交銀品

近ふて見たさに本町通り 数えるネオンにあの突脳 数えるスカンと境面の強骨 またも埋れて山となる (四)

版法目の出の一切が関する。 「大学を表現は、一個問題を はれて資本日は、一個問題を はれて過せる はれても はれて はれて はれても はれても はれても はれて

「安産のために」片瀬陽學博士逃 **伽子呈上** 元寶歌 店商助卯田和

野

口面面 層會

便所から怪火

継水式を行い本年三月二十四

| 開あり午後は快晩になったが | 東京、大阪で従物を開稿||日午前 | 一年八月十日起工、同年十一月廿

| 局長を始め松崎伎師、野々部匹記 | さ九十三米一、市十三米八、深さ **タの殿壁に横へ京城から山田弧信 | 日完成、重世明銀四干玉百組、長|**

「大田」四日午前一時切像際都再」こった。

さくら

色屿合法船艇出机

大和組回漕部

片瀬醫學博士 鑑査 植林醫學博士 推獎

⑦天 谷 健 それだのに…… 今あの子に、かぶりを振られ それだのに…… 写あなたの御壁は元もと存 それはみんな水の泡になつて

> 成るべくあなたの御意思に副 **側子息の希望を略いてみた上**

手際よのでせられ

しれからはお父さんの仕事を

豚りましたわ……

悪感しいことだらう。

ところでおは一人子ださうだ

無理に強ひるのもどうかと やつと交渉成立、無税でこのほど 間に交換がくりかへされてゐたが

たが然し、本人の嫌ひなどを

も、校長は衍子をするめ作ら物。 は太郎は。校長室に呼ばれてゐ

にからそうした仕事に耽きた

, 490

御力徒へを願ひます」

既は哲字と四面と手工とが

ロハイ成るべくなら

私から奬めて見ませら **『どうぞ~~そのやらに**

用の野冠で米だ國外に出たことの 高さ二尺くらみの冠で何れもシン 叉の冠」は手段さ行進ひから神戸。事なものである「以真は置冠を匿 マース皇帝から贈られた王宗輝楽 来た、この智冠は金色を然とした なかつた地配、『王女の冠』『夜 ムダイヤ敷百がもりばめてあ 『殿に押へられ吉田氏と慰願伽の いて大喜びの吉田府貮氏】 製養攸節一行の吉田昭園氏へ 東京の吉田氏宅に送り届けられて



先生のお言葉 どほり 致しま

『よく彫りました』 光生は思ふのです」

として四月より九月寺でに塁作す。一大倉職を祀るべく上演用衆本をのた東省ではその第一歩。公職を記載し我が関すべき追載する。これなる主義すべき追談する。 大盃の東野県・一大倉職を記載しまが関すべき追談する

何よりお父さんを安心させ、 その朝意思に副ふことが

十六作品を

釣魚餘譚の卷

では尺五の餠を一日に三十枚る す、あそこでは膨より貯水池のげたとふいてゐる友人もありま

思ふほど手ごたへのある奴を苦らする中に窓がカムルチイかと

た、既いて尺射を三枚、さらか

」ないうちに民族のやつを上げ りにからつたがものと十分もた き魚を寄せておいて、顔つても

う流れかけたミミスをつけ、到

ね、四時半から八時半までかり 心して上げた、一尺三寸あつた

にも苦心が形要ですな

網をみたら何と網の目から洩つ

た、この調子なら三四等に入賞 二寸位の小物だがらなる個的れ

すると思つてニコ(「顔で腹の

かくるほで 今度は浅い方の 他 深い方の池に出かけたが一向に 出かけました、白川に避くと早 つもりで四人組でこの日曜日に 造風呂にも入らず昨年成功した

寸 五分 から二寸 程度のがひつ

異點くなるほどうよ!してゐすか一寸五分くらゐのが水面も

歌がなほつてゐたのも成功したましたよ、則日の大肆で魚の機

てまだ日が高いので崩もつて質 た、土曜日の夕方から出かけた

をすかして御馳走に食ひつく時

腐ったミミズで尺物十一枚

時に出るので時間が無いから腰

た上に鯉までかけた、汽車が九

な騒ぎになつた、女中がお客さ をあげたら昨日に劣らね大雨が

河原木 昨年雨場が過ぎてか

らのこと、仲間の者四五名と閉

古野 私も梅城さんと同じ、好し 梅林 私はもう大分しやべつたや

んを片つばしから即き起して宿 やつて来ない。宿に融つたら

裏に他が二つ、それから資産水 人で出かけ八九寸のを始め五

篠崎 いや私はあの裏の船です

て行つた動意するとすぐ間に出 寸位のを一つ上げたら大雨がず 日は温展して夕方載みたが尺一 かけたがさつばり釣れぬ、日曜 ミズも三日分を用窓し

が、其の難はや 智人りする大河内様犬郎の主演作

役は素直に家業に耽くことを

オペラ脚本募集

シーズン毎にオペラ公演を開催し みを貸けて來てゐるヴォーカル・一 オペラ復興の叫びと共に力强い步

もこれに味をしめて出かたけが 鮮以來のシコードでした、昨年 技質に参加したときは一寸から 失敗談だが東京の飯田の地で競 が暮れてしまつたので態々持つ て行つた餌棚などはその邊にか

人もゐる(笑聲)がそれでも駄 す、行きには明るかつたので道 ない、中には四つ冠ひになつた **金道ですからどだい歩きやうが** が思い程度で済んだがすつかり

から心配して迎ひに來てくれ上 なに難避したことはない、宿屋 せんがね (笑聲) とにかくあん 翌日は御獣像にまかせまする 一時近くやつと配り着いたが、

河原木 いや私ではありませんだがですか?

--代時器石

「個話」が『個話』でなければなーで、天下の深を啓からとも思いる

茸の上の アラをも どしん

○の切りはなされて持つてゐる性 品が特に他の文化や整新一般か まり重視しすぎた結果、文藝作 まり重視しすぎた結果、文藝作

~~~~

明 は ませんでしたが金部の

に次の妙しくつゝいたやつたをてスリチピに入り牛のアパラ併 が思くて三時間くらる避れまつ 豫約しておいた自動與が途中道神谷是塩に行つたとき、 蹴りに した、やつと金襴まで辿り着い 雨は坠る取はすく。さんた くらになって引った。おまけに

喘つたがこれはらまかつた。

趣味と學藝

それでなければ、あの場がを見 

経診のほ左の通りバス臨時選し疑問によつかる。そんな馬鹿など

ではないよ 傍に居た杉狂見が端てく 掛けてゐるとさ』といふの で犯人は丸節でロイド眼鏡を てゐる時、中田弘二が『それ

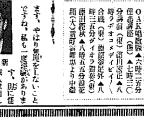
ラ最本係宛▲稲切五月

文書部、音樂新聞編作部にて

高に出三十六本を立く絶表、発置・左記の据定により取く一般より経りの収録を設備主に東管成績上版を、管理郷しまべき従興に披坤を加への収録を設備する事となった。 なき 一般より経過のによりなく一般より経過である。

を思いてゐる

不問▲上前時間は一時間半以内



食物に好き嫌ひの多いお子 さんは、

な榮養素が必要だからです。 を利用して、 が遅れます。 お子さん可愛なら、 榮養が片寄り發育 發育には色々 偏食を直しま

如く好きになること妙です。 嫌ひな物も、 拭ふが





.

先づ久大公司の買收に依 郷出品檢査に |種を追加指定 具體的增產計畫を樹立 ●●●●●●● ●記書並呈出九七名 大 新學 富典 生學 先與 先與 先與 先與



說演の裁總田

町田郡級河航要言は左の如し 果京形語 ] 民政策級合語におけ 一 は突然解散せられま

戦は既に開

絕對勝利

を信ず

8名、然るに林内州は

の日本粋理話から呼音せたコ公使がわざ!〜ニューヨーク然父宮同紀仲段下には、加藤 の板前になる料理を倒貨 関出総、加膜公使の関はされた後、午後三時公

中生るところ経書かあり、ど

こにも春の長山は見出されな

天皇二下のため配盃同十

がこの快適なドライグは、

内輪の午餐館に成らせられた日野」正午公使館は随頃にど

配目のこととて一般嫉哀、市 公前のやらに実しい、殊に日 の起伏、オッタワ市外は恰も 程な水の流れとなだらかな民

羅し全部で七十億名、秩父宮

明山路、関下には飛い服に

ッタワ市内外を ドライヴ遊ばさる

**限下には八時よりホテル・シ對し側答権遊ばされ、次で兩** 

昨日の同公使の挨拶に

【東京的時】第七十歳前の協致を

法、海外移住組合聯合會に對す続終度防法中敗正法律、保健所

議會通過法律公布

### 鮮滿鐵橋建設に關する 覺え書にきのふ調印 本府東京事務所に

事務所に陸應接室に於て大野政務總監、吉田鐵道する畳書の調印式は、五日午後三時から本府東京「東京社覧」の単点批算を責に続く満浦線鐵橋建設に開 **聏第三課長立會、嚴かに行はれ宋事務官が携行 何長、溝洲國大使詣松井參事官、外務省東亞局**井 奥交通、外交附部大臣の署名せる景西に大野総監は記事なる策略

朝鮮鐵道交通 研究會總會

道支配人、石川多野島勝道部 職所氏ら元酸道局段の私酸段部を 道交通研究暦』は三日協道局を電航戦部らで組織された『朝鮮 江口元縣道局此門係長、大平 め郷田局谷瀬長、郷山州流山

事にを推薦、鎌道綱、巡喩、自動 務、建設各職長、館長に金剛山

間た左記法律は上英仰載可の上五

式後大野總監は語る

解散に對する可能を仄め 関系が合動に於て今回の 関系が合動に於て今回の かし、副政府の一難に

の立憲政治の確立を開 官僚課職に被察を節節同意語課職に対するとの概を活動機を誘揮した、之志を確認を誘揮した、之の機を の解散を以て時局の 原田內相、四野法相、 開催し、桃首相初は

**不通道株式會町店、**防草铥

## 開門に解釋道局無事、思防・音楽・開閉に第一回整度を用いた結果、

法中畝正岳は、小蓮送菜法、日「私林廳の闡留強力なる健康を助兵」することになり、近く第三回の各一奏は標を阻虚の空である法律、日本無線代育株式合社「道局に對し決議的を提出して半縣」

### 經濟的平和再建案 先づ英米が通商協定を締結

急以が 有力であるに對し、宋子双するのを辞つて決定すべしと

民政部長孔祥照氏が三数から 「ゐる、而して白の問題に」 (事と機構問題で俄然政府部内

し、総裁に王克敏氏を説得し

果然ロンドン新聞界が報道

花質語を機能にルースヴェルト大 際へられるところ次の通り

国工を締結し、新平和梁の基礎 関定を締結し、新平和梁の基礎 はこ (1版はアヴィス氏)

首相の訓示に 民政黨が反駁

紙の如き特に統幹的 【東京電話】 桃首相の地方は宮僧 | 反對高短を表明した

展内能頭場が談の形式を以て左の

櫻內筆頭總務談

迭近く發令

裁總黨政民田町

一段牛塚虎で郎氏は淡る五月

や植勢の位地に在つ

相フオノ・プロームベルが元帥の

として極い情勢を現

六日正式に發令

五月上旬獨逸政府

五日の郷上に於て以上の報道を際、デリーテレグラフ紙の外交記者は

野村海軍大將 豫備役仰付らる

日支兩國關係の

使節を南京に派遣

| 善を斡旋!

氏は昨年より節烈を洩してゐたな【黒京龍話】嬰烈院長荒木城三郎

は がける 一 がける 事省項の ることに内定し 野村 芦二郎 京城支社 間が機の 京城府資金町二丁目 社 案內書送呈 員 招 指某位"宗景" 起来 聘

地盤開拓を目指 積極的方針。

きのふ選舉對策委員會を開催

指示

同篇の選手関係方針 衆議では五日午後] に示せる釈迦院顧録に与み、桑園 (東京常語) 赴唐大 | 總選舉、府縣離戰、市町村職選舉

昭和 二三 [聚位置] 五早餐店里 立候補各派別

人間野村ピル同門政務所に刑事!【大阪電話】人組収合間では五

**八絹次期繰短率** 

開き、決定艦に陷つてゐた次明 ら同時に、中小衛心の主張を容 類短率に帰し協議の結果左の 北本地以手を一分五川 5和十

**南京政府部內** 

見對立

中央準備銀行問題で

□ 政治の質院を知らざ。

「職人国」

政治の質院を知らざ。

関ルテルに開版の総質に十二年

といるが知き

が如きは誠に無法なる態度と云理由を以て疑惑を執ひんとするるものにして斯くの如き自我的

立せんとの記憶を選めてむると

浙次ファワショ紀済を

重光大使が視察 結果は頗る注目さる 狭定されることに決定した

コーを出越しボーランド、ラトヴ かつたためその做としつてゐた。【選点電話】 東光大便は五日モス 役性に適宜者を得ることが出來。

つた、周大使の趣報が行は對「使することになったので、近く存記論の心理な話がを行ふこと」氏が六日駆使を過きな問題をに既定は関することになったので、近く存むが行うことになった。 日 特に銀任官の待遇を賜ふる任果有院長(二等) 一般 軍 大 將 軍 大 將 の如く母習院長の更迭が競令され

進出

本に過ぎないが、最近我か対解域、飛出機利が異似に行動されてある

ンエート政策選行上隣接諸国の

ることとなつた

京城府群令 ◆府數程是

いや近野

規度と云つて、四月a

的な資金流

全鮮金組の貸出増加やまず

遂に二億二千萬圓の新記錄

說

師の現狀から見れば、一つの 年から陽路で行ふことへ

方課長、戸之内閣の面々である。

57の私をいつか指り出した。達り 大宇部は念に森君を冬服に教養へ列山の腰骶に毛布を冠つて腱で | 春とはいへ急助下の珍黙に覗はれ 荒鷲狙△北鮮

田中通歌館の三三人に西眺地「峨に蛇とごり込んだ」で山豚の味「蝋染の鷓鴣が眩暈」焼行御出、タケンザーン・騒犬の呼び聲に列」のる私であつた、隠行の連中

線を起點に北部各種は五、六百キ | に架る萬機機こそ、壁の威與の難 し得る地域なのだ、配と母、腕を一

児づ咸県神社に詣で居民に敬 指示されたが、私は異に の立つ 足下には古城地が

一國防第一級にある身を忘れて れる敗百キロの威奥府民 **歴望する南總督)** 

京城管林署で

その指導に置ることになった。

い金融低級の部行高二千四日の

內相訓示要旨

地方長官會議で

省し、更に進んで佛陀の精

とになったことは

水産業今日の發達は

税關檢査に負ふ大

別設に就て 穂積殖産局長語る

り預金に對する低出の偏重は愈

日、伊、露、比の四ツ巴 國際拳闘大試合

展帯の崔炳夏氏によつて、今回|鰕起を状め、好略手として、この|弾々しく即立 二年間、東京に辛酸修楽し、今東 **開発に非常な人類層を持つジ** 

四日東光拳創立記念大會

にする蟹稲山公園に起つと、

國政府大童! 鐵銅暴騰と公債低落の惱

七回春季全朝鮮

濶葉樹積極

農林局では京城と城市に鉄林

穀聯の社團法人

苦心努力した人々へ感謝 との鮮産米の聲價實現に

州條年に亘る朝鮮産米政良の苦心器

鑑々朝鮮米の繁食を健康するは後人の資務であ、開放富品及業別記光版の質苦を認謝し、その動

朝鮮鄉督府穀物檢查所 朝鮮取出

夕刊後の市况

全球が 全球が 全球が 一型・海野 十三 一型・海野 十三 一型・海野 十三 一型・海野 十三 一型・海野 十三

女社長押切帳 る。お笑く就職音頭

◆REBEN+ 機**機譽名作**・株川 若燕

タルテスト

**高峰三枝子紅淚**日 松竹木船的新星· 原安 85

類に女の実話集

**〈佛次郎大傑作** の小型電行ス

これだけでも五十錢の價値!! 女三百十數頁の小型單行本!!

朝鮮取引所聯合會朝鮮嚴物協會聯合會

手魔追

大角殿の正典 『ペーキア 一種大き音頭・黒沼 角 『ペーキア 一種大き音頭・黒沼 角 『ペーキア 一種大き音頭・黒沼 角 『ペーキア 一種大き音頭・黒沼 角

「「「お前さん」」」山 手

頭に入れて置いて、さてその上で り考へてゐるよりも、この際どう ふ風に値が上つたのか一わたり 困つたことですが、然し、わず

を多く書く工面をすると、ハガキ を助添へます どうせ高くなつたのだから内容

一中へ横線を入れ緯ハガキの形にし 入れた上に、今度は宛名の側の眞 文従来の往復へガキには要談各五五皿の切手を貼つて使用します。 來のハガキをお待ちの方は、既に 銭五里にも愈とお別れです。 次はハガキ なつかしい

のではありません

れは旅行の時などに大いに役に立 て、必ず足は過激に、喧響 へ失戦り春光頃から注心し

水虫と煉白紛

を書き、奈地へいつばい文字を描しますから繁衍の上で五座は独同する時き、奈地へいつばい文字を描しますから繁衍の上で五座は独同する。 次に対破ハガキ、こんなことに なつたる、便識と封節代を損し て、更に値上げになる環道の手 紙よりも、便識と封節代を損し がもこの封破を使へま 受取つた人は大いに喜ひ 丈夫です。親しい友人などには 大夫です。親しい友人などには 紙に都足して中へ入れ、封を子 紙に都足して中へ入れ、封を子 野的です、その上対域ハガキだ

**ぬくなつた代り、自方か一瓦たけ** 自品見本、野野、標本市で一段。きのお話しに私も同覧でして、お 七の他、今まで二銭だつた川封

は飾り簡麗にし過きるといふさつ るわけには参りますまいが、近時

優待です、歴産物配子も、値は配 野学市副物の直は従来通り、月方 **※通りで目方が増してをりまする** は五十足も多くなりましたから大 好になってをります

着と思ひきつた裝飾が、このガウ ます、プラと貼んたスリーブ です肌と青の間珠からに引立たセハリウットに述行のアンサスブル ンの特徴です

る側合に少いかも知れません。
却て食物などよりも切りつめられ 在以上に節続するに致しましても 杉田・京の着倒れ大阪の食い倒 か卵力性かあるやうでござみます 番展外に伸縮性つて申します 食慾をそよる

材料小松菜一批、香油口艺、 小松菜の粕漬

りも食ふ方が大切なのちゃんいでしれとか云ひますが、やはり暮るよ

石村・無動殿に衣服を切りつめ一

棃

家庭經濟

あれやこれやの座談會

綺麗過る婦人達

紋付でテパート行 着物の廢物利用 第一種有封つまり普通の手紙の三

我々一般に一番値いのは

相気的けます、今まで大統略った一 ですから、一銭損はしても皮酸は つたのが、今度は二十瓦まで四銭 然し今まで十五瓦までに付三銭だ 銭切手が四段になったことです。 り、料金は上つても目方を増して 上つたが、父安くなつたものもあ 色々とコワを考へまもら

人體に於て

あるのもあります

小松菜は水流がし棚に入れ、贈一ございます く城の大根がまみるやうに美しち野い葉と白い大根が、丁度花の吹磨い葉と白い大根が、丁度花の吹磨曲と城の素をかけて頂きます。 まる南手でかたく搾つて器に盛り 頂くときには水洗ひせず、その

買物に飲付の羽織で出かける方を一つてみちんに刻みます、次に抵に 一般日はもう頂けます をふつて既盗をして既石をのせ、 んでよくまぜ、手で隙间のないや せた中に、割んだ小松菜をふり 西頼自然につき歴典三杯、自砂糖 てから小松菜を引上げ、硬くしほ二時間はど漬けこんで水があがつ らにおさへて盗をしておきます 二郷、酢一椒を加へてよくまぜ合 大根は乗り一緒に水できれいに

かなど一人で下 しんかに思う 、 利人なでにいますれ、私 説つてこまかく別々ます 有も確 につき聞も気をふりかけ、百分

らるの所石をして置けます。 ければ晩には丁度食べころです

か得遇か悪いやらに感ぜられます 私共のやらに符で参りますと何だ

随にさら云ふ事質かあ

イスかいしやうじございます

でも服裝の美力

見受けます、

か焼臼砂を水虫の川米切い 簡宅したら熱い別に足を切りの方は特に近隣を心掛け、 ×靴をはいてゐると自然むとが大切です して充分拭き取ればさつば れて汗をかきますから聞宅 部分に塗り、靴をはく肋に は塊川砂が指摘です、胎足 させ、風速しをよくするこ

るに従つてひどい水虫に僻れる方理の中で、吸かくないのはいて過ごさ

手 主 帖 婦

水山田實際に不信佐なもの で、出来てしまつてから、









害なければ

百藥の長なれど~



美祿とか昔から盛んに言ひ傳 酒は要を排ふ玉箸とか、天の

に侵されて半身不癒になる に慢されて半身不癒に、二日 かし其の反面に、二日

勝を域して、胃潰瘍、胃癌 し易く、また知らす√~胃

し易く、また知らず人へ胃とか、鬼角、心身障害を起

となる恐れがあります。

む車柄でせる。 あく。至を持つ人の、すべてが望 を持つ人の、すべてが望 が、できたならば……とは、恐されば、もし此の語の哲を除く 此の要求に合致したのが、卽ち

酒毒其他胃腸内の毒素、 普通の制酸剤と違つて、 新胃腸薬トモサンは

化藥

水用

し、尙且つ腸内の有害細菌 を殺菌する獨特の作用があ チン等の刺戟によつて、 物を吸著して大便中に排出 廢された胃腸の粘膜を強化 し、またアルコール、ニコ

胃にも腸にも

ばかりか、酒がもたらす種 痛も治療し、胃も腸も併せ 朗かにした上に、下痢、 々の害を防ぎ、醉ひ心地を 悪醉、二日醉を解消する

**販賣元** 

**職係上、相當の研究と自信がなけがあつての事であるう、此の三版があつての事であるう、此の三版上手方三二飛は何か新らしい研究** 

Ħ 新 新八0°元1°429 日本横谷只"克"

東京市日本橋属本町ピノー 當然の結果でせう。 ぜひ、一度お試めし下さい。 てゐるのは、我身を愛する モサンを服用すると、 引續きトモサンを持薬とし て强健にするのです。 服み易く! 酒を飲む方が一度でもト にあり。若し品切れの時は直接各地の薬店及びデバート奏品部 販賣元へ御註文を乞ふる た総入(十日屋) 三部総入(十日屋) 三部総入(1・月屋) 格低麽!

能と致しまして和服と朝鮮服との

しない眠り、朝鮮服が最も経済 配者。さら転しますと二重生活

させる方法は無いものでせうか

和服といった程度でございました

ですが二番目の子は友の前に入れ

十六日正年より四巻の「盛花調客」 | 今來青蘭(太小道本社三階) | 氏(古天門町)」 | 優彦 | 今四月十五日 | 正年より四時(投入「調客) | 今講師 | 竜崎武教入鏡花、亭正道坊雕道朝鮮精滑町・大日本郷が守市 丸 華粹

観歌記

ar

步角柱

を笑いてあた。 と笑いてあたゆうであるが、最 と笑いてあたゆうであるが、最 と笑いてあたゆうであるが、最

る。 工作を計るのが本断だとされてゐ 社頁ちに一六步と一筋よりの攻撃 と祭してゐたやうでゐるが、最近

老巧と新鋭の初手合せ 興味ある一戦

◆會費、二日間で六十銭、◆材料は、御自由に納得ち 下さつても よたらぬ中名早くお申込下さい

◆會員五十名限り 敬授の都合上多人数の数策が出来ませんので、精切りと

ましてもう二人縁に出しましたの 原 私の方には七人子供がをり

現に内地人の方でこれは

まア選集とし

か、夏分には朝宗服で通し冬分は の割合経済化にも調和をはますで

宋(今)時期の二重と申します

れる方も私伝じ上げてもりますが

なさつてゐら

(王) 製分には近隣何だ一つた方もありましたし、自分の収入がじ上げてをりょうが、の数付だけでも三枚もお作りにな

なさつてありなさつであり

漢昇を決めまして洋服主義で支度

扱させました、娘のお姑還には自

少々はこちらで用窓して置きますからその旨御申込み下さい<br />
◆中

6買費でお分ちします。◆北上治、及用具はなるべく御持巻の事、仰不便の方の爲め また會場・は本町二丁目を野花店からも停山村つて来てゐますか

**社學製部家庭機係(本町一丁目が野花店に便宜申込んでも料付です)** 

京城日報家庭欄

合せで、現在四段の顕彰が、大段、重に五四步、七大步、五二章、五」の最を高字頼伽行動である。「戦である。そして南君共に初乎、四歩と西路を削ける。即らなで上。も二四又は五四へ繰り出し、一般である。そして南君共に初乎、四歩と西路を削ける。即らなで上。もつ。上手四二十級に決ぎに四級定法し口を投資とす。過行四、て戦に関かれた―――耿て奇を退し、一六歩と突いた意味を気配さ、現立は、光辺在野穴と、、磯似、多年興味の中心動でもある。所く、てあるぞうだ、下手一五步と楽などは、光辺在野穴は、一般の天城に、「陽底空喰ひ込むかは、四二歳と廻ふ作戦が横れ続用を取すな机風を以て現在高段の域に一般の天城に、「陽底空喰ひ込むかは、四二歳と廻ふ作戦が横れ続用

る、元深済間推復では、二系が、 は、四二飛を整念には、四二飛を整念には、四二飛を整念には、四二飛を整念にはは、一大歩といった意味を傾応させた。 一大歩との、上野四二版は次第に20円である。上野四二版は次第に20円である。

段 飯塚 勤一郎

紀ず於なと思ひます | 記者 大陸この頃着物できずと私ども朝鮮服がやはり一番 く祓つてずひまずから

四月十五・六兩日(正年より四時) 来 消 間 できなってお祀の対外は愛になっても高いであっていました。 またすでに源者のお家庭へ奉任をする意味で左の如く欠い意製で、しかも所昇の大家を集団として投入と旅径の課者官を聞くことにしました。初心者はもとより、お歌師の大家を集団として投入と旅径の課者官を聞くことにしました。初心者はもとより、お歌師の関ですが、相意によく話すりになったし、要校を出たお願さんにもとより、お歌師の関ですが、相意によく話すりになってしています。

蓮目が破らないといふ懸から申し「直ずことは兎ど出級ません、小さで結脳薬の直しが出来ます、節に「ますが、魏の逸つたものに仕立ても一葉か二銭ぐらゐの愛憾の桑樑」さいものを小さくすることは出級

| 脱いませずと | の方が付きませらね、頸脈脈は大 ら他の色々の蛇でも前でも気が発病を | から先世の壁が利用はやはり利服 | 杉田 なら鯉その生がした。それ なだけ作らせました。 本外は高くつきょうかしら、それ なだけ作らせました。 本外に でいますかね | 一枚、概例一枚、収解

ら他の色々の點でも節数について一こざいます

|杉田|| なる鯉その要観でした。 お話で買ひましてもセンベイ配で | 紀春 どの態度まで何ることがなだけ作らせました。 | ります、オヤクも気で作りますが、こでも前級用来るやうに思べます

第一局

の四段 飛送の局面

步



翌朝あなたのお肌が見違へ

る程美心くなつてゐます! キビ・ソバカス

出物を一掃する

(TEAZEL) O 鄭的効果に就て 医手搏士 小 林

東に刺されし時又は呼足を怪我した場合手近校の遠足、山遊びに行かれた時髦、畝及び非る特殊機能を保有して居るのである、瑜は學らかにし日然自然無を訪ぎ皮膚を美白作用す 現れであります。その小さいのは面ねと呼ばニキビは青春期に見られる人間變化の一ツの たら炎くしい御化粧は出来ないので有ます。つても地肌が荒て吹出物やニキビが出來てい 型の如く如何に高價なるクリームや白粉を輸現れともなります。家を建つるにも土塵が必縮かし反面に背脊時代の呪しくも醜い皮肉の

樹ンザーリファマース壁(七)でゐた常憤ら綴ら意妙、飲酔のルー 郷き返つてゐる 

| 帯き返うてゐる | らの新人學式に天貨別樹の館を館を総と正月を同時に迎へたやらに | 校でも同様自五十名が午前十時か

はりながら校門をくどり間岡小學

程に相関しい明風景を描き出した。 **心臓にモデモデしながら如何にも** へ、はじめて生徒となり先生と呼

清州の國婦

會員を募集

防空防水の完璧期し

同鐵橋改築

小田技師苦心三年の設計圖 懲ょ三大學 ^ 廻送

東大、京大、九大

江華文廟堂議改選

田技師が主任となり助手とよるに、全保護する世界的工夫に最らされた構造の経験には工務職の新鮮か、ので勝名、勝次に総對的な安全性自下部版の報酬を進めてあるが、に亘つて苦心的光の結束生れたもっては、フレッチャ 

【仁川】五日は郷しい入郷武

この世智辛い時世に

なんミ嬉しい話題

株券は從業員に分與する

珍らしい金鑛成南に出現

同組合で定期機代育を前催 「株構態の取引は宛と無く、市中は、消防組は金郎川附組のちもから唯一は上京、領長かり表彰院を受取りて正明)金維組合では本名十二日「出二、三国の保証で大、七国の資」をもも懲みの消光実験に即く戸川「ら表彰院を拠壊されたのでは現所する」を含まれます。 江華金組總什會

活動を促さんとするものである ついまの選供を負担してゐる婦人の 間に

つた有様である、然し實際に質質 されてゐる大部分は一圓程度の芦 側から五、七風に跳ねあがるとい一顆一圓乃至一圓五十銭、畓は二

設備的松江青田が年二、三十銭か 授與された表彰旗

の婦人を網羅し非常時局を略載さ 成を容集中で現役軍人の夫人以外 九日の天長節の住民を行して結成して出州」在郷軍人分割では来る廿

ることになった回頭婦人的分配

相次で朗報に近く展開される西郷

水道 も若いてあるが、人気は失戦り樹 住所不定金山口(こ)が支地人所有 明 外へと駆すり市中の土地取引は後 祖及したとこが刊つた、更に 野球 「「一川」三日朱安 「駅沢北棒」「一川」三日朱安 「駅沢北棒」「一川」三日朱安 「駅で野鮮人と支那人が口輸してみ 暦一に八面を添み由した外候 のでを次歩戦前を整み出した外候 ので るのを朱歩戦在所を巡査が中に割ったことを自供した

る土地の思惑と異が厳んになり、 時代を繋想し桁外工場地帯をめて 業進出、工業圏田の民間開放等々一 立、廣樂機器田へのマグネシヤエ 計製館足、三和川尻の工場地帯埋

譽れの仁川消防

地から市込者が殺到してゐるが | に敷むされ歳別がは現在の○・六が既に営兵は補椎、魏炎、阿許 | 全があつた、この一目から新原殿・「韓程原を関する見込みである | 令があつた、この一目から新原殿・「自程のの鼠(維持段)、「関土 | 放戦は十九日的本府から殿中の損し作用のの鼠(維持段)、「関土

「咸興」府及び興南国の行政區域

【仁川】側敞五十六年の古い歴史 | 一つ故遠され大日本市防傷質長か 樋渡組頭携へ歸る

で早くもゴルフアーやフアンの「一萬一千七百廿九戸、五萬八千三郎では雄離がトラブをぶるわけ」 壬三百五十人か一・一一六万里、因みにゴルフリンクの出現は北

親に道式がとしく失見し地元清州 | 本記の多々ある折腕。同山事の蘇颐 行した 政権に伊藤姿勢領長等が銀毛の下では立野町五郎、安里正帰道が高 **戯上、今後の手腕力肚に保つべき。らば興神礼で府原指版型出版を料** 黒黝川事に對し間進縮上の思北極。 なほ成 興 府では一日 午町八時か 清州」 百萬道民が簡叉と仰ぐ金 | 五萬五千二百七十二人と飛聞する

六九方里、一萬五千四百十六年、 四萬 四千二百 九十六人が 二・五 九二六方里、一两三千百七十九片 百七十七人となり、興南日は〇・ 一萬二千七百廿九月、五萬八千二 一方里、一萬一千十五戶、五萬四

ワン公大獵

量も次第に増加した

呈進瓶小

Щ

雅

霄

田川

當る御體驗を……

群 明

棎

信州鹽澤家傳

製法日米專賣特許

丙

養命

贲

に金加事の留任運動を起すべく一 校改稱 満州の二普

> 三頭を揮へ目下同名で保険してる | 百署では四日野犬勢を行い八十日|| 田犬の様行所止のため、

く有志大僧を開催することに決定。町警校、新設の湯州第三普校は石 日、右三氏が語合協議を避りし五一校は公田普校、清州第二普校は認 【酒州】上二年度から福州第一番 るが、何主は三日以内に申出れば

犬を使すが、期間を過れば野犬と

チフス豫防

【永登前】登録者では府公局前に 體が温かく活気づいた

係職队實に三使六千高坪といふデ際る永平金山主王朝夏氏の所有に

した處で現在は定平、永興南部に

**創力しかないが今秋までには常|存する六百二千餘鑑賞もこの良餐現在は手捌で毎月二千期の採捌|なほ同氏は設常、平北の南道に所** 

アかい金属であるが李知萬氏はこ

組織とし伝数や組合の段数は従来したるAB南部に分らA部は複合なの様式節は、B部は組合

衰運に焦つた楊句

つひに惡の道へ

親戚や友人らが金策に奔走

李野郎、趙脈久の南氏が永年純繁 ゐる四百熊願島の金山は荷婦園時代に 登篇点

郎次元田藤

(0 を図有名の製点、音楽のします のを図有名の製点、音楽ににあり。 東京出市所へ直接御作文 東京出市所へ直接御作文 東京出市所へ直接御作文 東京出市所へ直接御作文 東京出市所へ直接御作文 特に伽注目の上お求め下さい。幕賢特許臘環家姿命間の文字にニセモノあり

爾 浩 陵 資 元信州上伊那郡南向村大草 養命酒本舖天龍

4 胃腸衰弱 ◆神経衰弱の ●强腦强精の目 Ø Y 的

の疲勞倦怠の ●呼吸器贏弱の人 ◆不眠・息切れの人 Υ

神 快選撃 【永同】地山面では阿協議會員転員二名の補快選 「永同】地山面 

狂ひ機の四月になつたといふに氷

児島神に投錨、この日は々不連度 で 野手の兩艦は四日午前十時半小月

概》の思載者が現れて海上は荒れ

カメラ風水原へ

頭に盆と正月

ドイツ船續々と入港して

滯貨の鬱憤なちまち解消

曇のち晴の羅津港

おさずつたので見要謝のトップを 的八百名は雨盃もきれ火波も断く 申さへ降り出し流石の無敵は床の

四鮮時代を豫想し

【権性】かねて確職、権害所他の一のみで金辺単は動かの息である。あつて三親に分れ神紀の間に、後 観者間に叫ばれて果た繊維ゴルフ ので有恵大所閉艦の命でも自然お 本田山林悪長の権助について消息 便楽部はい よく 宮東の煙電観し 強れとなり一先づ要心の度である。あつて三親に分れ神紀の間に、後 便楽部はい よく 宮東の煙電観し

是中村鮮殿支配人、作山三井物

機造駐在主任の南氏がリーダー

反として供樂部はの群集を開始し

時半頃から清州神社神経で金田事帯神、忠北道では三日午前十

道に朝鮮松、銀杏、根野数干本を

環がよくなり元氣回復す

金額

深 山

仙

酒

記念植樹日

加合、修収の支流引事から機勝をかり、以下官民的五百名登加の上記念師に集め、日本の上記念師に集め、日本の上記念師に集め、日本の上記念師という。

官民多数参加し記念権職を行つと

<sub>良</sub> 正

酸される名物で、

香ひが

よくて美味くて、

杂谷

中然の風土氣候の中に はり、山高く水溜き名跡 地たる信州天津峡の天然 の東に 野技以来三百年の家僚に

新

ら水同型化塩内とその附近林野で

膨れる兩地

興南邑は凄い飛躍

**咸興は五萬八千** 

なり疲勞倦怠せず

名ですから、成程と思ひれに真質の好能で益々 有の生命とする効果は、 い

觸手郊外へ伸ぶ

坪二二十錢から一躍五倍へ

南浦の土地熱旺盛

和兵を育ろかせたが相山中建校生

精選にあたることになつてある 消解組は発動的研究に際たる形り一般のため戦に殺債が解め、万事気が、へを受けて際にしたが男人の仁川年は、・・で以襲を許される。一四日朝前院組織や事民が仮の「近」

井戸水檢査

を破ち、その影響に隠離してある「の大衆軍生に一股と縁を注き居所」になった。神師祖は報館市原原に概たる光り「仁川」 著原生館では春から迎へ「巻不適の」

、北鮮に

コルフ倶樂部實現

近く羅津郊外にコース選定

初めは九ホール

入れ昨年度時代をいの指導施行をし、入れ昨年度時代を明の推奨を記される。 同場合組合を組織して大工場地色各可可と連絡し環に衛生組合派に 各町館毎に批射股が巡り施行する たところあまり成職がよくなから たので今年は在射型を組織して各 彼が早くお乳もタップリ くなり盗汗を忘れました ŭ 页 大 K 柳 蘇 郎 三理川大

面的に統一確立されるものと知識するので呼ば江の交通関係は

れが統一の必要を慰じ飲止案の遺(低下の底にいれてある五十銭を波形行されて来たが、平北道ではこ)は李仁権の兄を立覧人として李の

懐満間に定

| 「新新州」頭喰船登襲取締は路路 | 町の仮代を開来に來たが、発が終して旨民の紀文け良く今回韓田に對

運送船の取締改正





◆根氣薄弱の ◆貧血 冷込みの

●虚 弱 體 質

Ø

◆病後回 の産前産後の婦

復

期等々



















仁川】 医面の青年質淡家協成的 | たが神像の犯い総位商はつひに金 | 熱行循環になるから知れないが、

商議金氏近〜送局

とんだ四月馬鹿

柳江華視學

**戦も一日から開始した** 開体業中の報恩、俗雑山間定期運 を開始することに決定、また参期



紅馬が従っからの大邱法院の櫻

金町に入り實際家を認み離布に調った、金町は消骸商業を発業後期 使の罪名で機事局に彼ることにな

質何避然に配けの記人をし弦楽、

農村振興座談會

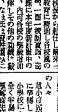
に足を踏みいれて三十條回に亘り

る性値を重ね、その後臨成西面

戦し避々しく質素界に乗り出し

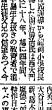


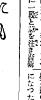












後の回復に

んなによいものがある

手術後の肉の上りも早い



店局店 店员店 店店

表田 上 州

橗 藥器

奕

傅古德 佐古 岩田铁日楽杉 《夏花莊 王明版常》 觀響 靡松佐 并 材 金郎 谷 清福自山 大養宮神秘聚金属更本山中昭國協獨邦大東博館和富丁宮自川思文北海愛貴雄王夏平山皇

娄

加

店

二內親王樣

左の日程で順

思要を終くさせられ、四日

館の

補助椅子

型京北語] **園西方面の**頃

私あらせられた孝宮、 順居

安徽で)奥行取締御則の一日一湾に慰暑主その修興行職療者「行済大な」なってあたが、歴史の邀暑の用勇化に承出した一ことにたり帰期が子総関徳止を五一成勇行謝難の自合せで、自務院に邀替の関係に承出した

きのふ京畿道保安課から嚴命

るので、配客が除時人れ替りをす映職館が三回連取奥行を行つてるな危險がともなつてゐた、これは 確してゐたもので、出入にも非常

交番の警官六人がかりでやつと押一行してゐる肝臓を巡回中の警官が

巡査六人で漸く捕獲

香文店取で泥酔して通行人に器|か]と交もや強力を揮つて暴れ出味ころ京城光照則二ノー〇五龍|ころ『辭道盤||欧の腕前を知られ

垄

間の宿邸であった補助荷子座止に

通じて翻演行脚を行ふことにな

た、そして六月廿日から一週間

一折れることになったので、

**富水本府里特局長、金吨四**數 迎へるため、五月午後三時か らの出迎へを受け朝鮮ホテルに投

行ひ、宇島の罷避を験に描きなが

民のため来能量の調波的を開催す

語を行ひ、同夜は杭丘館で京城村 | 在城前段有志主版の語を行ひ、同夜は杭丘館で京城村 | 在城前段有志主版の

るが、京城ギリスト教育年館では とになった、なほ女史は廿五、大の 不真面目な人場者を整理するため、兩日平野でも辞滅を行ひ、南州各

参山に上陸、廿一日参山で脈流を目主館岩銭大阪の穀内で六月廿日

・ 全場…… 34)まー・・・ カスの質 間半に亘つてトムソン酸時と発掘して超大な複数と蒸暖を集めてる 名のために本府第一食堂で約一時して超大な複数と蒸暖を集めてる 名のために本府第一食堂で約一時

とに決つた、廿世紀の奇謎と同午後三時から本府駿町一下七百

探験と學術研究館を開くことにない場合学がである域大を訪問、教

つた、女史は成大から闘途、海生

港を出れ、今に平洋上を走つ

レン・ケラー女史

**外鮮日程きまる** 

77月廿二日入城三日間滯在

一重通譯で講演、研究を行ふ

| 封練質能は司令官、南總督、宇血八宗艦長|| 總督官 即の晩餐會 【前列石から】能開除手稿長

二千に近い勝衆で担内は加州は、 練習経験の海軍大樂路政奏會は五

昨夜の府民舘

陸の勇將と 海の提督交聴 練習艦隊首脳を招いて

翌手崎長限団大佐以上雅樹十七名 | 演に式で、無敵日本龍軍のやら 古城中れ、八窓職技学加大な、一郎と帝國産軍の短形」と取する総合は入城中の機智艦隊司令長「攤鍋中佐棚所基大氏の『太平洋 總督官邸晚餐會

戦、余郎に亙つて破蛇な漢弦を行った、腹脈の野卵化をはかることを変化される卅日から楽銭を哲 三般についてはこれを供郷厳重の変化ではそる卅日から楽銭を哲 三級についてはこれを供郷厳重

に教徒する正依屋第三百八十軒の | ほを強能したり。

以上の履女を使用したり、

中には宮局の脳をかすめよからぬ る四外遺伝をはじめ、網路町一番

止されてゐるにもがらずコッソ

を五日午後六時から倭城魯国邸に | 徳刺たる吹突樂のプログラムは 九時被爵・一般の子々となつて められ。別場の糖果は最後の施用と

飲屋を調査

愛婦代表 **鬼軍慰問** 京城仮の各所収義町の一角に陳取 鐵道の昇給除外組 一律に改正初任給ペ引

て起

波瀾免れぬ形勢

野山で韓原映画を午後七時半から

院、八旦西四代町高

不合格の家田

上映することになつてゐる

る上機取、大竹、三種、山田谷 得して晩餐館を脳したが、

贈の

二国連兵隊長野を交へて歌 質も海の提督等を迎へて

軍樂のタ

三明して散節した

渡隣の途入城

木みどり氏い巫原、干薬、帰華、長若宮一三大佐、神流川縣代表命 在山泉川部隊監問の途上にある時 行ひ、引つづき一 

を示し一説網を幾世されてゐる。 破壊さる

後一時半出越、鄒裕迦を東大門に

に對し京城府では都市記載上から

ベコダ公園

もう一隊は同じくパコダ公園を午 | 祭地及ひ漢南町の製絵院第二祭地

つて東四軒町に出て式場に向ひ、

金弱町の水鐵築地、韓里町の韓里

んが引張りながら本町通を恵に禄一近き将来に市街地化を取割される像を記る花削量を可愛いお稚児と「夏城府が示す急テンポの態度から

京城の三墓地

料金額を巧に破壊して鑑み去つ料金額を巧ちが脚連割の公衆市話

面の飛切り軽給に浴せず、

交飛前

个能といふ状態で、これらの昇行で後の歴典も営局の方針から質現 陽暦最初の

電光石火、金簪を搔つ拂ふ

三六人がかりで高く取押へ一演による春の音樂大演奏節は、 瀟洲から舞戾つた前科者

る (入場物は一四月一)

浪商優勝

日午後七時半から肝民船に関か

七十人の行列が

年は少飯の町みて息るな々と動権一例年に第らの盛大な行事 の陰臓主婦が個別の花まつりは本

朝鮮日報に屋裏路地に追込み引浦

殿り堪を荒し廻り、趣よ身の危險 制限工を勤める傍ら夜となれば各 を出るや、春天に飛び印

**能予放長者三百除名を乘せ一月十八日ニユーヨーク観光船ドイツのレライアンス號(三高トン)は世界** 

仁川電話』春の観光朝鮮をかざるお馴染みの豪華

築建ひて重體

伯爵や世界的大質雌ドイツ・イゲ質血(メイナマイ名をはせたレフトホーフン氏の令弟レフトホーフン のとき細胞性量の中堅となり々人同識湾々としてドイツ人へンス・キイフさん、一行中には時況を

早熟に罪あり

全鮮産業品展覽會

を投げ出さなくてはならない

…勿喩そのほめの手皆という

日開船、腓府に向ふが、船長はこれまたお馴染み深い

一巻三百名は特別仕立の一等列車で京城地物へ

総内に多性を極めてゐる、十一

大崎することになった、仁川世島は行では旅客に入崎することになった、仁川世島は行では旅客に入崎することになった、仁川世島は行では旅客

別取逃走中を東大門が戦に捕つたさん方へ羽込み交易実施計画位を せんと四日夜安岩町一一八字舜雨 心は仲良しの男が金がなくて毎日 日間京城南大門通商工

のはあるが、月三回から多くて に動質が弱つては海絡に加ふる五風といふ吹出さ、ほ近のやう 各地有名食料 東京日本福 販賣店 柳屋特製



京本芸〇七七番へ || 九 二 酉 齊|

度仁儒素砂 片 山 農 間 株式會社新創設開創代理部 型藻曲量

阿班に五十四一阿五行一

原格安良渡す詳細 班支店出班所に最 頭五十吋至急

継の復行に高つ て聞き込みや事

> 美味で安價で 滋養、豊 富

門地でル二階が入れ

T京 000000000

0101000A



取取取取取取即配工取締締締続 精 精 精 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 和 報 例 例 符 段 段 登 上段 土 长

八千二十四四三十 門用網 越金 門中一四七十二 門里 四五十九

三付省略文

比無秀優 <a>壁完備機</a>





京城田健時間は最初九日の

いなった。 人用遠距のもの 二型茶ダエタルタ 高時内に確質な保 スダー係として侵 として侵 で、三の砂 大 島 製 菓 所 御一般特に日獨 審いろは旅館

一 大品 (他を外間屋) のも可替の上便宜立方のも可替の上便宜立方方の上便宜立方方の上便宜立方方の上便宜立方方のとである。 最近四月好的收回部

金子 哲店

はまず十日位服売で帰由を使す 一人の一個方と工作でする。 たい一個方と工作でする。 たい一個方と工作でする。 にはますこけ。 東井家海等所 に成本の一個方と工作学中でも下 の長利工作等中でも下 の長利工作等中でも下 の長利工作等中でも下 の長利工作等中でも下 の「本方力」」

造製の手車 特製の手車 特別の手車 大阪地域の大阪地域の を取りが、大阪地域の を取りが、大阪地域の を取りが、大阪地域の ででは、大阪地域の ででなるが、 ででは、大阪地域の ででなるが、 ででななが、 ででなが、 店 東京神田五年町九 田和野崎一人小 田和野崎一人小 田和野崎一人小 田和野崎一人小 田和野崎一人小 田和野崎一人八四 一

は、 ・ 一直の ・ 一直の ・ 一直の ・ 一直の ・ 一直の ・ 一直の ・ 一面の 一面の 一面の 一面の 一面のの 一面の 一面の 一面の 一面の 一面の 一面の 一面の 一面の 一面の 

作

診

講義見本內並付無代測量 日本普文大學出版 東京市下谷岡上時櫻木町八/

世 翼 教 田 道夫 原東眞五郎

27

+

教授 指導 學

アイスケー 4

**上館券株式電**記

信券問屋 日本相互通

進度なが 

日進統一 受験科

嚽 物

木時計 店

京城本町二丁目

三十一日現在) 対理之部 四 210次(8学元 110次(8学元 110x(8) 11

